

クイックスタートプログラムへの対応について

1. クイックスタートプログラムの概要

クイックスタートプログラム（QSP）は、SAICM に関する財政的な措置の一つとして、包括的方針戦略の中で言及され、第1回国際化学物質管理会議の決議に基づき設立されたもの。

同決議では、以下のように定められている。

- 開発途上国及び移行経済国における初期の能力向上及び実施の活動を支援することを目的とする。
- UNEP に設立する信託基金と、多国間、二国間その他の形の協力を含む。
- 特に以下の事項を優先的な戦略目的とする。
 - 化学物質管理のためのナショナルプロファイルの作成・改訂及び能力向上ニーズの把握
 - 化学物質に関する国際条約やイニシアティブの実施活動を基礎とした、SAICM 実施のための組織、計画、プログラム及び活動の確立及び強化
 - 化学物質の管理を国家戦略に位置づけ、開発援助の上での優先度を高めることにより、SAICM 実施を可能にするための分析、政府機関間の調整及び公衆参加。

QSP の実施のため、IOMC の参加機関及び UNDP よりなる実施委員会（Implementation Committee）と、地域代表（国連5地域からそれぞれ2カ国）及びドナー国よりなる管理理事会（Executive Board）が設立された。

次回管理理事会は2008年5月6-7日に開催される予定（ジュネーブ）。

2. 我が国の対応（環境省）

第2回管理理事会に向け、各国はQSP に対する支援の予定について、様式に記入して事務局に通知することが求められた。これに応え、昨年、環境省より外務省を通じ、以下の内容を通知した。

- 2007年度、環境省は、アジア太平洋地域の開発途上国及び移行経済国におけるSAICM 実施計画の策定を支援するため、5万ドルのプロジェクトを実施する。2008年以降も、予算の状況に依存しつつ、プロジェクトを継続する予定である。プロジェクトの実施計画については、アジア太平洋地域会

合で議論する。

- 環境省は、アジア太平洋地域会合の開催のため、7万ドルの支援を行う。
- このほか、東アジアにおける POPs モニタリングや重金属プログラムの支援等の個別の事業を行う。

また、環境省では、SAICM 諸外国実施状況に関する調査等を通じて日本への QSP 要請があった国（タイ・ブータン）について、3月に要請内容に関するワークショップを開催し、平成 20 年度から、タイについては POPs モニタリングに関するトレーニング等を、また、ブータンについては、化学物質管理政策立案についてのフィージビリティ等の調査をそれぞれ行うこととしている。